

# 届け 世界の果てまでも

令和2年11月 4日

No. 45

文責 校長 飯久保一男

## 気になる言葉づかい

11月より、また、タイトルをマイナーチェンジしました。  
…落ち葉舞い散るもの寂しい晩秋

☆このところ重い内容の通信が多かったので、軽く読める内容のものを…

今号は、気になる言葉づかいについて書かせてもらいます。まず、子どもたちがよくつかう言葉です。

## 〇〇していいですか？

子どもたちが教師に「〇〇していいですか？」と聞いてくるのがよくあります。

- 言葉の意味の上では、自分では判断ができないので、教師に判断を頼る言葉のつかい方です。
- 教師が「NO」と言うことはないのに、聞いてくることのほうが多くあります。
- 言っている本人は、教師から「YES」or「OK」が出ると聞いて聞いていることも多くあります。
- 自分の行動に自信がないときに、教師に確認をとる（お墨付きを得る）ためにつかう子もいます。

私は担任をしていたときに、例えば「トイレ行っていいですか？」と聞かれたときに、始めは

- 「ダメ」って言ったらどうする？
- 「トイレへ行かせてください」でしょ。
- もし、トイレへ行かせなかったら、それは虐待っていうんだよ。

などといちいち対応していました。でも、何度も「〇〇していいですか？」と聞いてきますので、途中からメンドクサクなり、自分で判断できると思う場合は「来年にして」「来年になったらいいよ」と答えちゃうことにしていました。



- 調べる学習をするときに、記録用紙を配り、2枚目が欲しい場合は、教卓の上に置いておくから、自由にもっていくようにと連絡をして授業を始めました。しばらくすると、その用紙を取りに来た子が「先生、これ、もらっていいですか？」と私に聞いてきました。自由にもっていいと言っているのに、この聞き方ですので「来年にして」と答えちゃいました。他の子が「自由にもっていいって先生が言ってたじゃん」と耳打ちをしました。そうはいつでも黙ってもっていくのも気が引けるのか「もらっていきます」と言ってもっていきました。
- 帰りの会の司会の担当の子が「先生、帰りの会を始めていいですか？」と聞いてきました。6校時が終わり、帰る支度もクラスの全員ができていて、当然、始めていい状況だったので、「来年になったらいいよ」と答えちゃいました。すると、その子はちょっと困った顔をしましたが、自分で判断して「先生、帰りの会を始めます」と言い直しました。私が「どうぞ」と言って帰りの会が始まりました。

これらは、教師に頼らなくても、教師の許可がなくても、自分で判断できる場面に限ったことです。緊急の場合では、こういうふざけた対応はしません。しかし、自分で判断できることならば、いちいち教師に判断を求めずに、人を頼らずに、行動してほしいと思っています。意外と大人でもつかってしまいうい回しです。



おまけ1 以前勤務した学校でタクシーに乗って4年生と出かけたときのこと。そのタクシーの中で、4年生が、「水筒飲んでいいですか？」と私に聞いてきた。私は「水筒は飲んじゃ困る」と答えた。タクシーの中だからダメなのかあという顔をする子に「水筒の中身は飲んでいいけど、水筒を飲んじゃったら大変なことになるぞ」

おまけ2 黒板の管理の当番の子どもが「先生、黒板消していいですか？」と言ってくる。この言葉には「黒板を消されちゃ困る。黒板に書いてある字を消すならお願いします」と繰り返した。

…性格、だいたいひねくれているのでしょうか？

続いて、最近、世間でもよくつかわれていて、誤りが気になる言い回しです。

**〇〇とか**

「□□先生とかってさあ、すぐ怒るよね」とった誤用のことです。言葉が省略されてしまったと受けとることもできますし、「など」と混同したつかい方の場合もありますが、「とか」は並列助詞で、**2つ以上のものを並列させてつかうのが正しいつかい方**です。この場合は「□□先生とか△△先生とかってさあ…」と、2人以上を並列させて言うときに用いるのが正しいつかい方です。

同じく、並列助詞の「たり」も、2つ以上のものを並列させてつかい、「～たり、～たり」と、2回以上繰り返してつかうのが正しいつかい方ですが、1回しかつかわない誤用を見かけます。

さらに、この2つの誤用が重なって「□□先生と<sup>●●</sup>かってさあ、すぐ怒<sup>●●</sup>ったりするよね」などと「とか」も「たり」も1回しか使わない、二重に誤った言い回しもよく聞きます。

**すごい××**

「すごいおいしい」と言っても、今では「その言い方はおかしいだろ」と言われなくてもいいかもしれませんが、実は二重に間違っているのです。「すごい」は形容詞ですので、同じく形容詞の「おいしい」の前に置く場合は**連用形の「すごく」としなければいけません**。テレビを見ていると芸能人などが話す言葉が字幕（テロップ）で表示されることがありますが、「すごいおいしい」と言っても、テロップでは「すごくおいしい」と修正されているのを見ることがあります。

しかし、これでもまだ意味がおかしいのです。「すごい」の意味は「ぞっとするほど恐ろしい、非常に気味が悪い」ということですから、「**すごい**」の**後にはプラスの意味の言葉を置けません**。マイナスの意味の言葉を続けるのが正しいつかい方です。同義語が「ひどい」ですので「ひどい」と置き換えるとわかります。

「すごい(ひどい)雷」「すごく(ひどく)汚れている」といったつかい方がふさわしいのです。おいしいものを食べたときに「ひどくおいしい」とは言いませんから…。

おまけ3 (子どもはまずつかわない言い回しですが…)

職員「校長先生、郵送したい書類があるので、郵便局の<sup>●●</sup>ほうへ行きたいと<sup>●●●●</sup>思います。」

私「郵便局へ行くじゃあいいけど、郵便局の<sup>●●</sup>ほうへ行かれちゃ困るだよね。」

…性格、相当ひねくれているのでしょうか？

- 「～のほう」という言い回しが最近使われる。公式な場面でも「〇〇会議のほうを始めさせていただきます」などと言われる。本来「～のほう」がなくても通じる内容につけている場合が多くある。
- また、断定を避ける意味で「思います」を使うことがある。「～のほう」という言い方と合わせ「〇〇会議のほうを始めたいと思います」などと言うこともある。これは、かなり言葉を曖昧にしている。「〇〇会議を始めます」と言って全く問題ない。「～のほう」「思います」という言い回しは「断言はしていません」「その可能性があると言ったまでです」と、逃げ場をつくっていると受け取ることもできる「ズルい」言い方でもありと感している。



最後に、言葉に関わっての問題です。答えは次号に載せます。

次の四字熟語やことわざ、言い回しは間違っています。正しく直してください。

- |            |             |
|------------|-------------|
| ① 怒り心頭に達する | ⑥ 責任転化      |
| ② 舌づつみを打つ  | ⑦ 歯にころもを着せぬ |
| ③ さいさきが悪い  | ⑧ 孫にも衣装     |
| ④ 時間を裂く    | ⑨ 絶対絶命      |
| ⑤ 所用時間     | ⑩ 危機一発      |



二階から目撃